

(様式2)

## 「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（企画・引率者用）

平成26年9月24日

所属・職名：医学系研究科保健学専攻 母子看護学講座 助教  
氏名：工藤 直子

研修期間：平成26年8月25日～平成26年9月5日  
研修先：英文 Royal Institute of Health Sciences  
：和文 王立ブータン大学健康科学院

### ○研修成果

王立ブータン大学健康科学院ならびに隣接の総合病院(JDWRH)において、看護師助産師の養成や、周産期における外来や病棟での看護・助産について実地研修を行いました。ブータンでは慢性的な医師不足により、看護師助産師は診療(医療)行為の一部を担っていました。そのため、学生も臨地実習の際から点滴や創傷ケアといった診療補助行為を行っており、より実践的な実習が展開されていました。また、患者ケアのほとんどは家族が行っており、保健指導等は専門的な学習を受けている技術職が行っている場面も少なくありませんでした。年々新たな取り組みが導入されており、健康教育が普及されつつある現状も見受けられました。

さらに診療所や伝統治療院等の見学も行い代替療法の実際や、地域における母子保健活動の現状や山岳部ならではの問題点を理解することができました。

### ○研修全般にわたる感想

今回ブータンにおける医療・看護・助産の現状を知る上で、現地の文化や人々の考え方を理解することの大切さを学びました。日本では当然のように行われていることや良いと思っていることも、現地の状況や思考によってはなかなか受け入れがたい現状もあるということを実感しました。そのため、相手に寄り添いニーズを把握するという事は、いかなる場面においても重要であると改めて認識させられた研修でした。

この相互理解のためには、語学力も重要でありましたが、現地の方々のあたたかい配慮のおかげで2週間の研修を過ごすことができました。みなさまのケアフルなおもてなしに大変感謝申し上げます。そして、このご恩を今後の交流の機会にお返しできたらと感じております。また、今回このような研修の機会を与えてくださいました関係各位のみなさまにも心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(様式 2)

(写真)

